

自衛隊函館地方協力本部長の小幡です。

北海道はよく梅雨がないと言われます。梅雨のない北海道はさぞかし爽やかな日が続いていると思われているかもしれません。しかし、ここ最近、函館もジメジメした天気が続いています。このジメジメした季節を「蝦夷梅雨」と呼ぶようになっているようです。カラッと晴れた日が早く来て欲しいですね。また、コロナ禍で困惑しているうちに、今年も7月3日で半分が過ぎることに気づきました。もう半分過ぎたのかと、ちょっとビックリですね。また、もう直ぐ七夕ですね。函館には「ロウソクもらい」という七夕の伝承行事があり、子供たちは玄関先で「たけ〜に たんざく たなばたまつり おおいに いわおう ロウソク いっぽん ちょうだいな」と歌い、訪問された家の人は玄関に出てきて子供たちにお菓子を渡します。今年はコロナの影響で、できるのか、どのようにされるのか心配です。

6月の緊急事態宣言、都道府県間の往来自粛の解除を受け、函館地方協力本部の活動も感染防止に留意しつつ徐々にではありますが、再開してきています。4月、5月には自粛していた採用試験、市街地広報も6月中旬に再開し、多くの方々に志願、受験また参加を頂いているところです。7月1日からは、いよいよ高校生に対する採用説明も開始となりました。文科省及び厚労省は、コロナ禍による混乱の防止から、高校生の就職活動のスケジュールを遅らせることを決定し、選考開始期日等を9月16日から10月16日に変更しました。一方で高校生を対象とした一般曹候補生、防衛大学校（推薦、一般）、防衛医科大学校、航空学生の採用試験については、省で検討、関係省、機関と調整が

なされた結果、当初の予定どおり、9月からの実施となりました。採用試験が最終合格まで1次から2次試験等複数に及ぶこと、遅らせた場合、内定外となった就職活動者に不利益が生じること等に配慮した決定であり、ご理解を頂きますようよろしくお願い致します。長期休校等により就職準備に時間がないところとは察しますが、自衛官に志願を希望される方々には、錯誤がないよう広報官がしっかりとサポート致します。

7月は、5日（日）、11日（土）に一般曹候補生の、20日（月）及び21日（火）に自衛官候補生の採用試験が予定されています。細部については、当地本のホームページにてご確認下さい。

日銀の全国企業短期経済観測調査（短観）は、日本経済が新型コロナウイルスの感染拡大によって深刻な打撃を受け、特に中小企業が追い込まれている現状が鮮明になりました。また、3か月先の見通しについても、「さらに悪化する」と見られ、回復の兆しが見えません。道南地域においても経済的な打撃は大きく、有効求人倍率も1倍を切っています。このような中、自衛隊は、昨年と採用数に大きな変動はなく、また、初任給等の処遇についても改善されており、「安定」、「充実」、「安心」した就職先となっています。コロナ禍で求人が少ない時勢の中、自分の実力ではなく、就職先側の事情により行きたい職業にどうしてもいけない場合があるかもしれません。そのようなとき、自衛官候補生、いわゆる任期制の採用については、任期の2年、4年等ごとに自衛隊を続けるか、転職するかを選択できますので、任期制で入隊し、自衛隊における経歴と、資格・免許、資金を充実させてから、次の入

トップとして自分の行きたい道を選択することもできると思います。自衛隊は、再就職のための援護、職業訓練も充実していますので、その際には全面的にサポートしてくれます。是非ご一考下さい。「よし、自衛官になろう！」

今年4月に入隊した陸・海・空自衛官のうち、陸、空については教育隊における3か月の教育訓練を修業し、7月から部隊や学校に配属となります。3か月の教育、訓練、よく頑張ったね。新天地での活躍を祈っています。

6月から始めたY o u T u b uでの募集広告も1か月が経過しました。ご覧になられた方はありますか？是非、多くの方に閲覧頂ければ嬉しいです。

それでは、皆様もどうかご自愛の上、元気にこの正念場を乗り越っていきましょう。

2年7月